

---

平成11年 3月 泉高卒業  
福島大学行政社会学部 4年次 北村ゼミ所属  
佐々木 清 志

仙台五城ライオンズクラブの皆様、お久しぶりです。私は96年から99年までの3年間、奨学生としてお世話になりました。今回は結成40周年のお祝いを申し上げると共に、高校3年間とその後の生活に五城ライオンズクラブ様からのサポートがいかに大切なものであったかをお伝えしたいと思います。

今、高校生活を振り返ると、思い出されるのは弓道だけです。私が泉高校に進学したのも弓道をしたいたがためでした。1年の春から引退の3年の夏まで、朝練・部活・その後の自主練と、テスト期間を除いては弓を引き続ける日々が続きました。練習こそひと一倍でしたが、私が選手として成功したかといえば答えはノーです。さまざまな射癖に悩まされ、同期のメンバーが遠征を繰り返しているのを横目に癖を克服するための練習に明け暮れ、なんとか上達しようともがく日々でした。しかし弓道をやめようという気にはなりません。むしろ、それだけ一つのことに執着し、努力を重ねられる自分に驚いていました。日々の練習の中で継続して弓道の理論を学び努力を重ねるうちに、少しずつではありますが、自分の技術が上達していくのを感じることができたのです。

高校に入るまでの私は、何をやっても中途半端、少し嫌なことがあると投げ出すのが常でした。しかし弓道を始めてからは、たとえそれがうまくいなくても、本当に好きならば、自分は全てをつぎ込めるということを知ることができました。「周囲がどんなに先に行こうとも、焦る必要は少しも無い。もしそれを楽しいと思えるなら、その気持ちに素直に従って続けていけばいい。」そんなことを弓道から学びとりました。

大学の3年次に中国河北省・保定市にある河北大学で福島大学からの派遣留学生として1年間中国語を学び、また今年の3月からはオーストラリア・タスマニア島で英語の語学研修を受け、先月末から再び河北大学へ帰って来ています。高度成長真っ只中のこの国の成長振りに驚くと共に、自分がどう変化してきたかを再確認する日々を送っています。

帰国後の就職活動を考えると、2ヶ月間の中国滞在中考える事が、卒業後の進路に大きな影響を与えることになると思います。

留学生会館の一室で、今高校生活3年間を振り返り、自分の心に従うことの大切さを学びとれたあの頃の重要さを認識し、またそれを経済的側面からサポートして下さった五城ライオンズクラブの皆様には心から感謝申し上げます。結成40周年の節目の年を迎え、五城ライオンズクラブの皆様には、今後も引き続き経済的に困難のある学生への積極的なサポートを継続していただけることを期待すると共に、ますますの御発展を隣国中国からお祈り申し上げます。ありがとうございました。

---

平成16年3月 仙台一高通信制卒業  
白井寛徳

仙台五城ライオンズクラブの皆様、40周年をお迎えとのこと、本当におめでとうございます。

私は仙台一高に入学しましたが、事情があって途中から通信制に転籍しました。卒業までに結局3年以上かかったのですが、五城ライオンズクラブの皆様は、奨学金を打ち切ることもなく、卒業までお世話になることができました。このことは本当にありがたく、忘れることができません。

一高に入学し、五城ライオンズクラブの奨学生に採用して頂き、順調な高校生活のスタートでしたが、1年生が終わる頃、病気が悪化して、学校に行けなくなりました。2年生に進級はしたものの、ほとんど学校に通えず、とても辛い思いをしました。先生方からの助言もあり、通信制に転籍しましたが、奨学生の扱いがどうなるのかということが大きな不安でした。卒業まで、奨学金を頂けるという通知は本当に嬉しいものでした。初めて仙台ホテルでお祝金を頂いた時以上の感動でした。自分を支えて下さる方々がいてくれることは、とても心強いことでした。自分も将来は人のために貢献できるようになりたいと思いました。

お陰で、通信制に転籍してからは、勉強も順調に進み、学校行事や生徒会活動にも参加し、修学旅行では沖縄に行って、楽しい思い出ができました。とても充実した高校生活を過ごすことができ、感謝の気持ちで一杯です。無事高校を卒業し、現在大学進学にむけて勉強に励んでいます。将来のことはまだ分かりませんが、人の役に立つ人間になりたいという思いだけは強く持っています。

仙台五城ライオンズクラブの皆様、これからも私のように経済的に困っている人が、安心して勉強できるよう、奨学金の制度をぜひ続けて下さるようお願いいたします。本当にありがとうございました。

---

宮一女高3年  
佐藤祥子

私は七夕の時、仙台五城ライオンズクラブ奨学生として、活動に参加させていただきました。観光に来た人へ七夕を背景に写真をお撮りするということでした。現場に行くまで、私はお金を頂くものだと思っていたのですがそれは間違いで、全くの奉仕活動でした。その代わりに募金箱が置かれてありましたが、強制ではなく、あくまで気持ち、というところにライオンズクラブの温かい方針を感じさせられました。「頑張ってね」と声を掛けて募金をしてくださる方もおり、嬉しくなりました。ライオンズクラブの方々も暑い中、一生懸命活動してくださり、私は多くの人に支えられながら生きているということを改めて実感しました。将来、私も何らかの形で社会に貢献していきたいと思っています。

将来とは言っても、まだ何もはっきり言えず、暗中模索の状態です。今年の夏までは部活に燃え、勉強のこと、まして大学のことなど考える余裕もあまりなかったのですが、高総体も終わり、夏休みに入り、初めて自分がどの大学に合うのかを考えました。そして以前から興味があった理学という分野に進もうという結論に至りました。将来の職業はまだ想像もできません。ただ知りたい、学びたいという理由だけで学部も学科もきめてしまいました。母も初めは「そこに入って何になるの?」と言っていたのですが、今では理解し、応援してくれています。就職の有利・不利とか、まわりの意見ではなく、自分の意志で大学を選び、やりたいことをやるというのは本当の意味での学問だと思えます。また、そのような中で的大学生活は間違いなく楽しく、有意義なものになるだろうと確信しています。そのため、今は遅れた分の勉強に追いつこうと必死に勉強しています。またまだできる部分も多いのでさらに勉強し、そして残り少ない高校生活を楽しみながら送っていきたくと思っています。

最後になりましたが、ライオンズクラブの皆様、いつも本当にありがとうございます。

---

---

宮二女高2年  
福 島 梢

40周年を迎えること、本当におめでとうございます。

私は昨年4月、仙台市立富沢中学校よりお陰様で二女高に入学しました。そして奨学生担当の先生にライオンズクラブの奨学金制度があることを教えて頂き、現在お世話になっております。今、17才の私が生まれる前からこのような活動をしていることにとっても驚いております。

奨学金は、1年の時は部活動で卓球をやっているのでユニフォームなどの用具を買うのに役立てさせて頂きました。

今、2年生ですが、2年生は今月末に研修旅行があります。その旅費として使わせて頂きます。9月26日、仙台空港より京都へ行ってきます。

3年生になったら、奨学金は大学進学費用にさせて頂きたいと考えています。

私はこれからも私を支えてくださる方々がいると思うだけで、とても嬉しく、心強く思います。皆様の期待に添えるよう、これからも勉強や部活動などを一生懸命頑張っていきたいと思います。

仙台五城ライオンズクラブの皆様、私と同じような環境の方がいらしたら、学校生活を送る上で奨学金はとても大事だと思います。どうぞ、これからもこの奨学金の制度を続けて、私のような方を応援して頂きたいと思います。

---

---

平成7年3月 泉松陵高卒業  
(旧姓 渡辺) 荒 井 忍

この度は結成40周年を迎え、誠におめでとうございます。

奨学生として、皆様の温かい御支援を受けてから、約13年の歳月が流れました。御礼を申し上げたいと心にとどめていたのですが、あっという間に13年が経ち、私自身も時間の流れの早さに、驚愕しております。

平成4年に宮城県泉松陵高に入学してから3年間、皆様の無償のご奉仕のおかげで、私は夢に向かって、短大へ進学することが出来ました。

現在私は、児童福祉施設に勤務しております。高校時代の3年間、仙台五城ライオンズクラブの奨学生として、皆様の御支援を真摯に受け、福祉分野で活躍することを誓い、夢を現実にすることができました。

毎日が目まぐるしい程、多忙で、時にはへこたれそうになりますが、子ども達のつぶらな瞳を見ると、無償の愛をそそごとと、元気が湧いてきます。

皆様の社会貢献は本当に素晴らしいものです。あの3年間、皆様から無償の奨学金を頂いたおかげで、現在の私がいるのですから。無償の奉仕、無償の愛…、人に何かを尽くしてあげることを学んだのも、皆様のおかげです。

五城ライオンズクラブの皆様は、私の「足ながおじさん」です。今後も様々な方々の「足ながおじさん」として、御活躍して頂きたいと願っております。

13年間も御無沙汰しており、本当に申し訳ありませんでした。13年間分の感謝の気持ちを込めて、心から「ありがとうございました。」

---

平成11年 3月 東北工業大学高卒業  
那 須 真 也

前略、暑さも和らぎ過ごしやすい季節になりました。御無沙汰しております。

突然のお手紙をいただき懐かしくありがたく当時を思い出しました。

私は幼稚園の時に公務員であった父を病気で亡くし、母と兄と三人で頑張っていました。当時、兄は高校生、私は中学3年生でした。担任の先生より仙台五城ライオンズクラブの奨学生の話があり、奨学生として採用して頂き、心温まる好意をいただきました。お陰様で高校に進学でき、中学より続けていたバレー部に入部し仲間達と共に青春を汗でにじませ、宮城県の優秀選手にも選ばれ活躍することができました。遠征費や練習着、またチームジャージ、サポーターなど経費がたくさんかかりました。奨学金は大変ありがたく使わせていただきました。

御陰様で大学まで進学でき、現在は社会人となり母を安心させることができました。皆様の温かい心、応援の賜物と思っております。

今後、私も少しでもどこかで恩返しができる様、努力していきたいと思っております。

最後にクラブの皆様の御健康と御発展を祈りまして、手短ではございますが挨拶とかえさせていただきます。

---

平成10年 3月 東北高卒業  
安部井 淳

仙台五城ライオンズクラブの皆様、40周年おめでとうございます。高校生の時（1995年4月～1998年3月の3年間）奨学金を頂いておりました安部井淳です。

幼少の頃父を病気で失って以来、私を含め兄弟三人は母一人の手で育てられ、経済的に余裕のある生活とは言えませんでした。そんな時、中学校の先生からこの五城ライオンズクラブの紹介を受け、奨学金を頂ける事となりました。正直申し上げてライオンズクラブに関してはあまり知らなかったのですが、何度かライオンズクラブの会合に参加させて頂いた時に、皆様の温かさや優しさを肌で感じたのを今でも覚えています。

奨学金を頂いていた高校時代は、参考書や予備校の講習などに最大限に利用させて頂きました。そのお陰で、大学も第一志望の東北大学工学部に現役で合格することができました。大学に入学してからは、勉強はもちろんですが、いろいろなアルバイトを経験し、更には外国も含め様々な地域に旅行に行き、人間的にも一回りも二回りも大きくなれたと感じております。特に、大学院生の時に学会で行かせて頂いたハワイでは、様々な地域の方々と交流する機会があり、日本だけではなく世界を視野に入れて生きていこうという強い意志を持つきっかけになったと思います。

今年の3月に東北大学大学院量子エネルギー工学専攻を卒業し、4月からは愛知県刈谷市にある株式会社デンソーで働いております。4月から9月初旬までの長い研修も終わり、本日（9月13日）より正式配属となりました。これからは社会人本番ですので、目標を高く持ち、これまで培ってきた知識を元に一生懸命頑張りたいと意気込んでいます。

現在の充実した生活があるのは、仙台五城ライオンズクラブ様から奨学金を頂いていた高校3年間があったからといっても過言ではありません。私のような境遇の人にこのような機会をできるだけ多く与えて頂きたく思います。仙台五城ライオンズクラブ様には、ぜひとも今後50周年、60周年とこの奨学金制度を続けていって頂きたく、お願い申し上げます。いつの日か私も奨学生を支える側になれるように、日々精進していきたいと思っております。本当にありがとうございました。

このたびは仙台五城ライオンズクラブ様の奨学生として採用して頂きました事、深く感謝いたしております。4月に宮城県工業高等学校電気科に無事入学し、まだ半年ですが、私の近況をご報告させていただきます。

入学当初は当たり前ながらなかなか高校生活に慣れる事ができず、四苦八苦していましたが、だんだん級友とも話せるようになり、ある程度緊張がとれました。また、部活動は空手道部に所属し、日々多忙な高校生活を送っています。

最近の学習面では中学よりグンとレベルが上がった勉強内容についていくのがやっと、という感じですが。それを少しでも克服しようと毎日家庭学習、あるいは塾で自主勉強をし、苦手を克服しようと日々努力をしています。そのおかげで夏休み明けの課題テストでは、苦手科目であった英語で点数が上がり、少し自信が持てるようになりました。またその他の科目でも点数が上がったものもあり、これも自信に繋がりました。それでも授業の内容が濃くなってきており、今後とも家庭学習を続けていきたいと思っております。

部活動では入部当初よりも練習が厳しくなっていますが、勉強と同じくらい力を入れ、文武両道を目指しています。最近は試合が決まり、特に力を入れています。

今後は、今までの家庭学習・自主勉強を怠らず、学習、部活共に力を入れ文武両道を目指し仙台五城ライオンズクラブ奨学生の名に恥じないように努力していきたいと考えています。頂いております奨学金は有効に活用させて頂き、仙台五城ライオンズクラブ様の名に恥じぬ高校生活を送りたいと思います。今後共よろしく願いいたします。最後になりましたが、仙台五城ライオンズクラブ40周年おめでとうございます。

## その2

### 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 (現在はニュースポーツゲームズ)

Ｌ三笠知也はこの事業に平成3年から取り組み、平成14年までクラブの継続事業として育ててきた。その功績は賞賛に価するものである。Ｌ三笠知也でなければ成し得ない事業であると心から感謝している。今後もクラブと共に継続してやっていきたいと考えている。

五城LC会長　Ｌ渡辺俊弥



社会福祉委員長・元会長　Ｌ三笠知也

仙台五城ライオンズクラブは、「より重い障害のある人達にスポーツの喜びを」、「ひとりで部屋に閉じこもっているのではなく、健常者と同じようにスポーツを楽しもう」をスローガンとして、平成3年度から宮城県・仙台市障害者スポーツ協会と共に“ドリームカップイン仙台”「宮城県車いすスラローム大会」を主催してきました。

また、高齢化社会を先取りし、「年を重ねれば何らかの障害が出てきて遅かれ早かれ車椅子のお世話になるのではないかと、老人の方たちも参加できるようにしよう」と言うことで、参加者を募ることにしました。

この結果、年々参加者も増加してきたため、なお一層競技を充実させるべく、平成6年には新しい車いすスラローム用具一式、ビームライフル競技用具一式、エバーニューマグナムスターター式等を協会に寄贈しました。

平成13年には「第1回全国障害者スポーツ大会」が宮城県で開催され、「ニュースポーツゲームズ」として8種類のスポーツゲームがとりあげられ「車いすスラローム」も「56国体」のデモンストレーション種目にも選ばれ全国から多くの参加者があり脚光を浴びました。

近年、日本でも、6年前の長野冬期パラリンピック、4年前のシドニーパラリンピック、今年のアテネパラリンピック等々障害者のスポーツも健常者の選手達と同様に協賛を受け得るレベルに到達し、国民もそのスポーツニュースに一喜一憂するようになりました。

ここ、15、6年の間に障害者スポーツは一般市民のなかに定着してきましたが、パラリンピックに出場した選手達も初めは大変苦勞をされたことでしょう。千里の道も一歩からです。

生まれたときからの障害をもっていたり、何かの災害により障害者になったり、また、普通の健常者でも高齢になってくると何らかの障害が出てくるものです。初めてスポーツやレクリエーション活動を始めようとする時には、大変な決心が必要であり、思い悩んで躊躇し、なかなかひと思いに飛び込めるものではありません。そこで、「ニュースポーツゲームズ」は、障害のある方・高齢の方・それに一般の方で障害者スポーツに興味を持っている多くの方々に、自分の身体にあったスポーツやレ

クリエイション種目をできるだけ多く紹介し、これらを体験することによって、一人ひとりが生涯スポーツ・レクリエーションを行いながら、自分の身体にあった生活の質、人生の質の向上をはかり、併せて社会・生活環境の改善に貢献させることを目的としています。

平成13年度に開催された「新世紀・宮城国体」でデモンストレーションとしてのスポーツ行事としてとりあげられた「ニュースポーツゲームズ」は8種目の競技でしたが、平成14年度には“2002ニュースポーツゲーム”「みんなでチャレンジ！」として11種目に、平成15年度には14種目に増加しました。(車いすスラローム、ニューソフトバスケットボール、ビーム・ライフル、スルーテニス、卓球バレー、フライングディスク、室内用ペタンク、スポーツチャンバラ、ボッチャ、車いすハンドボール、車いすダンス、レクリエーションダンス、パワーリフティング、バーンゴルフ)

仙台五城ライオンズクラブは、平成3年から平成15年まで下の表のとおり宮城県・仙台市障害者スポーツ協会と共に「車いすスラローム」また「ニュースポーツゲームズ」を主催し微力ながらお手伝いを続けてきました。

### 仙台五城ライオンズ障害者スポーツ協会継続アクト

		(協 賛 金)	(参加人数)
平成3年	第2回宮城県車いすスラローム大会	18万	40名
平成4年	第3回宮城県車いすスラローム大会	15万	54名
平成5年	第4回宮城県車いすスラローム大会	15万	81名
平成6年	第5回宮城県車いすスラローム大会 (物品協賛) ・車いすスラローム式 ・ビームライフル一式 ・エバーニューマグナムスターター一式	25万	106名
平成7年	第6回宮城県車いすスラローム大会	20万	91名
平成8年	第7回宮城県車いすスラローム大会	20万	85名
平成9年	第8回宮城県車いすスラローム大会	20万	101名
平成10年	第9回宮城県車いすスラローム大会	22万	53名
平成11年	第10回宮城県車いすスラローム大会	25万	53名
平成12年	第11回宮城県車いすスラローム大会	22万	69名
平成13年	国民体育大会デモンストレーションスポーツ 公開競技	50万(ユニフォーム) 50万(競技備品等)	
平成14年	ニュースポーツゲームズ	22万	383名
平成15年	ニュースポーツゲームズ	20万	385名

当クラブ会員も競技大会に出場し手動車いすタイムレースに、ニューソフトバスケットボールやビームライフル等々に参加し楽しく汗を流しております。

当クラブ出席者は、下記の通りです。

平成 3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
3名	3名	10名	10名	7名	10名	12名	11名	7名	13名	10名	10名	8名

今日における障害者スポーツの普及は、目を見張るものがあります。仙台五城ライオンズクラブの掲げたスローガン「重度の障害を持った人たちが自らの力でスポーツに参加する」という方向はすこしずつ浸透しているように思います。

宮城県障害者スポーツ協会の小玉一彦会長は創立10周年記念誌に「スポーツはもともとそれを楽しんだ人々によって創意工夫され、改変され、承継されてきた文化です。しかし傷害のある人はスポーツをやる時、それはなぜか「普通のスポーツ」ではなく「特殊なもの」「異質のもの」になっていました。最近ようやく「普通のひとたち」がそれも「普通のスポーツ」だと認知してくれました。対等・平等の条件のもとに競い合うこと（スポーツの精神）—それを障害者スポーツの中に見いだしたからに他なりません」と書かれております。

仙台五城ライオンズクラブとしては、ようやく基礎ができた段階ですから、これからなお一層「ニュースポーツゲームズ」について研究、検討を場を広げて行かなければと考えております。

そして、傷害のある人達に対するこの奉仕活動がライオンズの提唱する「地域社会の生活・文化・福祉および公德心の向上に積極的に関心を示す」という目的のひとつに適うものと思っています。

当クラブではCN40周年の記念事業として障害者スポーツ協会と共に「ニュースポーツゲームズ」を主催し、一層内容を充実させるよう、毎年金30万円を5年間継続アクトとし金150万円を協賛することにいたしました。

「ニュースポーツゲームズ」で自分に適したスポーツを見いだした若者たちは、より上を目指し、なかには技術、体力をパラリンピック選手レベルにまで成長させた人たちもいます。

一方では、車いすスラローム、車いすダンス、ビーム・ライフル、フライングディスク等々同好者をつのり個々にどんどん発展してスポーツを楽しんでいる人たちもいます。

仙台五城ライオンズクラブとしては「ニュースポーツゲームズ」を応援し、より多くの障害をもつ人達にスポーツに対する関心を持ってもらうよう、その裾野を拡げて行かなければなりません。

また一方では「ニュースポーツゲームズ」で自分に適合したスポーツを見だし同好者によるクラブを作り技術をみがいている人達に対しても応援をすることは、ライオンズクラブにとって大切な役目だと思っています。当クラブとしては、CN40周年を期して、大会会長を中心とし、何が一番ライオンズ精神に適う道かを検討し方向づけをする必要があると思います。

身体の不自由な人達を応援することはライオンズ精神に適う重要なアクトであり、障害者スポーツを「ヒューマニズムと人権」の21世紀に相応しいスポーツとするためにも応援しなければなりません。

このような大切なライオンズの役目を仙台五城ライオンズクラブだけでなく、一つでも多くのライオンズクラブが、横の連絡をとり、力を合わせて障害者のスポーツをいろいろな方法で応援できれば良いのではないかと考える次第です。

その3

青葉山早朝清掃（労力アクト）

仙台五城L.C.は青葉城二の丸跡公園の早朝清掃を昭和54年以来延べ25年間も続けて来た。清掃道具も仙台五城クラブで揃えて（桜岡神宮に預けて）継続してきた。労力アクトである。その間には、仙台市の公園課等から迷惑がられたり、寧ろやめて欲しいということも言われた時期もあった。

然し最近は都市美化などの気運も高まって、仙台市より仙台まち美化サポート・プログラム参加認定書を授与されCN40記念式典において表彰された。時代の流れを感じる。今後も労力奉仕活動として継続していかなければならないと考えている事案の1つである。



青葉山二の丸清掃（10年間）

年 度	二の丸清掃	参加ライオン	参加L.L.ネット	参加者合計	会長名
94～95	〃	83	11	94	本間
95～96	〃	73	10	83	千田
96～97	〃	110	22	132	小田
97～98	〃	99	21	120	三浦
98～99	〃	96	18	114	渋川
99～00	〃	76	26	102	鈴木
00～01	〃	85	32	117	高田
01～02	〃	75	27	102	斎藤
02～03	〃	75	29	104	中田
03～04	〃	55	16	71	鈴木

宮城県警「大学生健全育成ボランティア・ポラリス宮城」  
へユニフォーム55着贈呈！

青少年健全育成の一環として五城L.C.がとりあげる！河北新聞04.10.5(火)を転載するので読んで欲しい。

2004年(平成16年)10月5日(火曜日)

**ポラリス** 仙台の大学生ら活動開始

少年の非行防止を呼び掛ける仙台の大学生によるボランティアグループ「Polaris」(ポラリス)宮城に期待が集まっている。八月に発足し、九月七日には初仕事として、万引防止のキャンペーンを宮城県富谷町の大型スーパーで実施した。配布用の非行防止チラシにデザイン感覚を取り入れるなど、新鮮な発想で貢献している。

ポラリスは東北、東北学院、東北福祉の三大学の学生二十五人で構

**非  
行  
防  
止  
新  
た  
な  
担  
い  
手**

デザイン重視のチラシ  
月1回街頭で呼び掛け  
集会開いて意見を交換

成、キャンペーンには十  
三人が参加し、黒川地区  
少年補導員協会(宮城県  
大和町)の会員と買い物  
中の中高生にチラシを  
配り、万引防止を呼び掛  
けた。

ポラリスは、少年の世  
代に近い大学生なら少年  
という得意分野を生か  
るのではないかと、宮  
城警が非行対策の新し  
い担い手として組織化  
に呼び掛けた。黒川地区  
の田中喜一郎会長を  
中心に、比較的多く、  
非行防止をテーマにした  
集会で意見を述べた。

「少年と補導員との間  
には『窃盗罪』など、簡  
単にメッセージを記し  
た。デザインを担当した  
東北六六一年の斎藤美和  
子さん(こは)は「子ども  
も読めるように工夫し  
た」と話す。

少年らと「気持ち理解できる」  
近い年代

仙台五城L.C.の実行委員長であるL田畑英伍は早速宮城県警に相談したところ、夜間繁華街での呼びかけのチラシなどを配布する際に目立つユニホームを造りたいが予算がないということでCN40実行委員会では早速承認を得て別記のユニホーム55着(50万円)相当を寄贈した。(大会において目録を渡した。)

# ユニホーム（ポラリス）



正面（表）



背面（裏）



CN40記念式典でNPO団体の代表者に目録を手渡す。

#### ◇NPOへの資金援助（金銭A.C.T50万円）

仙台五城L.C.の新規事業の1つとしてNPOに対する資金援助を決定した。CN40記念事業として単年度の試みである。

- (1)子供・青少年育成に関わるNPO団体（3つの団体）に資金援助（10万円×3）
- (2)せんだいCARE Sへ資金協力20万円

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

NPOを行政や企業・市民との出会いの機会を創り出すことを活動の目的としている民間のNPO（仲介型の支援組織）

※NPO（Non Profit Organization）とは、日本全体では3万件を越える団体があり、NPOと名乗り乍ら、実際は営利活動を行っている団体もあるという。その中から仙台五城L.C.はライオンズクラブの活動と共感の持てる団体を公募して数団体を選んだ。これは単年度の奉仕活動であり、今後の成り行きを見守りたい。



## 8. 仙台五城の5年間の歩み

### Activity

(1)金銭ACT 6,024,270円 (5年間合計)

77,126,997円 (40年間合計)

年 度	金 額	会 長 名
99～00	1,157,500	L鈴木 義久
00～01	1,088,274	L高田 吉雄
01～02	1,763,700	L斉藤 元
02～03	1,157,500	L中田 良平
03～04	857,296	L鈴木尚太郎
	合計 6,024,270	

### (2)332-C地区役員 (キャビネット関係)

99年～00年 名誉顧問……………L馬場 武雄  
 00年～01年 名誉顧問……………L馬場 武雄  
           第2R第1Z.ZC.……………L田畑 英伍  
           YE・国際協調副委員長……………L斉藤 元  
 01年～02年 名誉顧問……………L馬場 武雄  
           会則・指導力育成委員会委員長……………L清水 達雄  
           合理化・リサーチ長期計画委員会副委員長……………L高田 吉雄  
 02年～03年 名誉顧問……………L馬場 武雄  
 03年～04年 名誉顧問……………L馬場 武雄  
           ライオネス委員会副委員長……………L三浦 成夫  
 04年～05年 名誉顧問……………L馬場武 雄  
           第6Rリゾンチャーパーソン……………L三浦 成夫  
           地区YE副委員長……………L田畑 英伍  
 複合地区役員  
           第44回OSEALフォーラム組織委員会……………L馬場 武雄  
           //……………L田畑 英伍

### (3)クラブ三役

	会 長	幹 事	会 計
00年～01年	高田 吉雄	渡邊 俊弥	笹岡 強
01年～02年	斉藤 元	阿部 正一	本間 悟
02年～03年	中田 良平	浅見 紀夫	中澤 敏信
03年～04年	鈴木尚太郎	菅原 光博	坂本 寿郎
04年～05年	渡邊 俊弥	横山 万也	本間 次夫

### (4)物故会員の追悼

謹んでお悔やみ申し上げます。

故L江口 次郎	(昭和41年 4月17日ご逝去)	日産建設(株) 仙台支店長
故L大原 弘	(昭和47年 4月26日ご逝去)	大原(株) 取締役社長
故L蜂谷喜八郎	(昭和55年 8月12日ご逝去)	蜂谷運輸倉庫(株) 取締役社長
故L中村 重夫	(昭和56年 3月31日ご逝去)	東北学院大学 副学長
故L萱場 照雄	(昭和59年 7月3日ご逝去)	萱場産業(株) 取締役社長
故L京道 信一	(昭和60年 4月27日ご逝去)	東北経済研究会 専務理事
故L守 正	(昭和61年 8月25日ご逝去)	片桐工務店 会長
故L渡邊啓二郎	(昭和62年 8月29日ご逝去)	マルカン商事(株) 監査役
故L鈴木 康彦	(平成2年 8月18日ご逝去)	アドシステム 取締役社長
故L鈴木 四郎	(平成7年 4月7日ご逝去)	鈴木米穀(株) 取締役社長
故L川島兵一郎	(平成7年12月10日ご逝去)	(株)川島紙器店 取締役会長
故L小田 基	(平成12年11月29日ご逝去)	東北大学 名誉教授
故L中田 早苗	(平成14年10月7日ご逝去)	大泉保全 相談役



C N40の式典に先だって物故Lの名前を呼びあげ黙禱！  
C N35からの5年間では故L小田 基、故L中田早苗の2人が鬼籍に入った。



## 9. チャーターメンバーの語る仙台五城

L 門馬賢造 ～インタビュー形式による～

インタビューアール 会長 L 渡邊俊弥

L 渡邊会長 「先輩が五城クラブに入会したときは何歳で、そのときの仙台五城のチャーターメンバーは何人おりましたか？」

L 門馬賢造 「はい、私は大正13年生まれだからちょうど40歳でしたネ！そのとき仙台クラブと仙台中央クラブとの共同スポンサーで46名でスタートしました。」

L 渡邊会長 「その時の五城クラブは元気なライオンが多かったんでしょね。昭和39年、しかも東京オリンピックの年ですものネ」



L 門馬賢造 「ハイ！その通り。まあ日本は戦争に負けドン底に落ち込んだ訳です。昭和30年代は高度成長の始まりです。ドンドン造れ！ドンドン売れ!!何でもやれ！という調子で、街も活気があり、飲み屋もデパートも商店も、ものすごく活気があった。そうそう、こういうオリンピックのあった年で、日本人はもう一度世界と対等にやろうとして燃えていた時です。こういう時に仙台五城クラブが出来たのです。いい時代でした。もう一度ああいう時代が来て欲しいものですね！」

L 渡邊会長 「46人もいたチャーターメンバーは、今頃どうしているんですか？」

L 門馬賢造 「それはネ！仙台五城は7つの子クラブをエクステンションしたんだよ！この7クラブのリーダーシップをとっているのです。子クラブからも地区のガバナーがでています（名取 L.C.松浦名誉顧問）。昭和40年代になってもその勢いは止まらなかった。私の勤務先が仙台ホテルに一番近かったので、仙台五城一筋に残っています。その他に残った人は殆ど他界しています。私はしあわせ者です。」

L 渡邊会長 「昔というか昭和50年、60年代のライオンズクラブと今のような不況下の平成の時代を比べて、今はどのようなところに焦点をあてて活動すればよいのでしょうか？教えてください。」

L 門馬賢造 「そうだな！私はもう80歳です。君たちのような若いLが元気を出してクラブを引っ張ってってください。何でもいい、とにかく世の中のためになることをやればよいのだが、ライオンズクラブにはルールがある。つまり理事会にかけて賛同を得て、例会で承認を取って、会員のコンセンサスを得てやらなければならない。こういう手順を今の若いライオンにしっかりと教えてやって欲しい。やはりWe serveは若いときに頑張るんだよ会長。」

L 渡邊会長 「はい分かりました。幸い、仙台五城クラブには今、若いライオンが沢山入ってきています。こういう若いライオンがイニシアチブを取ってクラブをリードしていかななくてはならないと考えています。次代を担うというか、継続ACTを引き継ぐ若手がとても大事であると思っています。」

L 門馬賢造 「そうだよ！スポンサーしなければならない。やはり45～50名のクラブが一番活性化しているようだ。仙台五城クラブの永遠の発展はスポンサーする以外方法はないですよ！」

L 渡邊会長 「ハイ、分かりました。スポンサーですね。今日は大変ありがとうございます。」



## 10. 仙台五城の謂れを追って



C.N40を機に、仙台五城ライオンズクラブの名称の謂われについて調べてみた。五城館、五城クラブ、五城中学校（仙台市青葉区東照宮1丁目）、大相撲の五城楼など、仙台には五城を冠した組織や建物などの名が多い。これからもわかるように、この名称は仙台の別名として人口に膾炙している。

ところが、これが『唐詩選』の中の詩句「同じく仙遊観に題す」に由来することはあまり知られていない。伊達政宗は1600年の仙台築城に際して、青年時代から愛読していたこの詩句の中の一節“仙台初見五城楼”を念頭に置きながら、青葉山を「仙人が住む高台」と考え、それまでの「千代」から「仙台」と改めた。五城楼は伝説上の壮麗な宮殿であるが、仙遊観は五城楼に比すべきものとしてこの楼からの風物をうたったものが「同じく仙遊観に題す」である。それ故、五城楼下仙台と仙台にちなむ言葉となり、五城が仙台の別名、あるいは雅名のような観を与えるまでに広く定着していくこととなったのである。そこで旧制第二高等学校の凱歌の中にでてくる五城楼も紹介してみたい。

### ごじょうろう 五城楼

伊達政宗が当時の仙台・川内青葉山に城を築いたとき、地名は「せんだい」と呼ばれた。川内→千体→千代と書かれたのであろう。政宗は幼いとき僧虎哉の教えを受け、相田康安から儒学を学んだ。禅僧はみな詩を良くした。その手本とされたものは「唐詩選」で、早くからわが国に伝わり広く愛読されていた。青年政宗も愛読したと思われ、晩年の漢詩もこれに負うものと思われる。関ヶ原の役1600年（慶長5）、政宗が34歳であり、家康から仙台築城の了解を得て計画を進め地名を「仙臺」と改めた。唐詩選七言律にある韓翃の「同じく仙遊観に題す」という詩の句からとったのである。すなわち「仙臺初めて見る五城楼、風物凄々として宿雨収まり、山色遥かに連る秦樹の晩、砧声近く報ず漢宮の秋、疎松影落ちて空壇静かに、細草春香しくして小洞幽かなり、何ぞ用いん別に方外を尋ね去るを、人間亦自ら丹邱あり」の詩である。320年ごろ編纂の『神仙伝』に河上公は漢の文帝（BC179-157在位）に「老子」の文を聞かんと召された。河上公は「教えをうけんせば来れ」と答えた。文帝至って「君も臣民ならずや」と問うと座より数丈空中に飛び上がり「余は上にあるも天に至らず、人をわずらわさず、下は地に居らず何ぞ君の臣民ぞや」と。帝車から下がり頭を垂れた。河上公は文帝をさとし教え黄石公の書『素書』2巻を受けて雲霧のなかに姿を消したという。文帝は尊んで都長安の西の岡に仙遊観を建てて河上公を祭ったという。観とは道教のお宮である。六朝時代（264年-588年）に作られた『十州記』という本に、もと崑崙山に五城十二楼があった。黄帝が造ったという。仙遊観は五城楼に比すべきものとみてこの楼から風物をうたったのがこの詩である。政宗は都の西の岡、仙人の住む台にも似た仙台城の位置を考え、青葉山を仙台と見立てたのであろう。五城楼下仙台と仙台にちなむ語句として用いられ、幕末の儒者志村士

徹は晩年五城を号した。明治以来歌詞の用語とされ、五城館、五城塾、五城クラブ、五城銀行など、五城は仙台をにおわす語とされ、五城楼は仙台北の雅名のような観を与えた。

／佐々 久

### ごじょうかん 五城館

1888年（明治21）12月、仙台・東三番丁49に本県最初の教育会館が落成した。総面積約396㎡、総2階、下は日本風、上は西洋風を取り入れた木造建築。2階正面にはバルコニーがあり、県知事松平正直の揮毫になる「五城館」の扁額が掲げられていた。これを建設した推進母体は1883年（明治16）に発足した「\*仙台教育義会\*」である。この会は、真山寛（当時、仙台外記丁小学校長）、佐藤時彦（当時、仙台立町小学校長）らを中心に、教育の改良増進、教育会館建設、書籍備え付け、有為学生の学資補助を目的に、仙台区内の小学校教員および教育篤志家をもって組織したものである。この会が中核となり、発足の翌年には「\*宮城県私立教育会\*」を組織し、その2年後には、教育会館建築のための敷地2,739㎡を購入し、早速、建築の募金にかかり会員からは俸給1円につき20銭の寄付、その不足分は仙台ならびに在京の有志の協力を得た。五城館建設の根本動機は、集会条令によって教員の言論が封殺されることに対する抵抗自衛の意識が潜んでいたことが明らかで、やがて、ここを例会場とする五城倶楽部が組織された。また、教育費国庫補助運動の推進力となる国立教育期成同盟は、全国からの参加者を集めて1892年（明治25）ここで発足したように、明治・大正期の教育の諸会合の多くはここを会場として開催された。仙台空襲によって焼失している。

／大村 栄

\*宮城県百科辞典からの抜粋（昭和57年）  
河北新報社版

# ニュースの記憶

仙台圏・あのことろ

一九六四(昭和三十九) 最初の騎馬像は、政宗  
年十月九日の河北新報夕 公三百年祭の三五年、宮  
刊に載ったこの写真は、 城東青年団が当時の金額  
政宗公騎馬像の復元除幕 式の様子を写したもので  
式の様子を写したもので 淨財を集めて建てまし  
す。しかし、戦時中の四  
除幕式は九日午前十一 四年一月、金属回収のた  
時から、仙台城天守台跡 め姿を消し、騎馬像あと  
で関係者約四百人が出 には平服姿のセメント立  
像が行われました。 像が建設されました。

## 政宗公騎馬像・復元除幕式

(1964年10月9日)



仙台市長の除幕で姿を見せた政宗公騎馬像

全く同年同月同日に  
仙台五城ライオンズクラブが  
認証された!

市民の間から騎馬像を  
復元したいという声が高  
まり、六二年に市観光協  
会が復元に取り組むこ  
とになりました。幸い  
騎馬像の原型が宮城県  
柴田町に保存されていた  
ことから計画が順調に進  
み、東京で鑄造、組み立  
てを行って陸送。除幕式  
前日、台座に据え付けら  
れ仙台市へ引き渡されま  
した。

▲H16.10.26(火) 河北新報夕刊の“ニュースの記憶 仙台圏・あのことろ”に掲載された、政宗公騎馬像の復元除幕式の記事である。奇しくも仙台五城L.C.が国際協会より認証を受けた1964年10月9日と全く同じ日である。

## 旧制第二高等学校

明治19(1886)年、一連の「学校令」の一環として「中学校令」が出され、各府県に「尋常中学校」、全国枢要の地に官立の「高等中学校」が設置されることになりました。これをうけて、翌明治20(1887)年4月、仙台に設置することとなったのが、第二高等学校です。

明治27(1894)年、「高等学校令」の公布により、全国5つの高等中学校はすべて「高等学校」と改称されました。それは

- |                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 第一高等学校 (現 東京大学) | 第二高等学校 (現 東北大学) | 第三高等学校 (現 京都大学) |
| 第四高等学校 (現 金沢大学) | 第五高等学校 (現 熊本大学) |                 |

の5つの旧制高等学校です。

この時代、旧制第二高等学校は仙台工業専門学校(現在は東北大工学部に吸収)との定期戦などで勝利の凱歌がよく歌われていましたが、この中にも五城楼がでできます。

現在は仙台一高、仙台二高の定期戦などでよく歌われています。

## 凱歌

大正12年 作詞：湊 勇雄/作曲：閑歳俊雄

壹 肥馬むちうたせゆるかにも 敵の牙城に寄るは誰(たれ)  
秋水一度(ひとたび)ひらめけば 君は無人(ぶじん)の境行く  
戦勝てり美酒を くみてたたへん君が御名  
光涼しく月照れば 喜びに満つ五城楼

貳 秋の最中(もなか)の野の風に 乱れてふやすしこ草の  
定め果(はか)なし敵の軍 紅蓮の旗は地に伏しぬ  
戦勝てり美酒を くみてたたへん君が御名  
光涼しく月照れば 喜びに満つ五城楼



## 11. 大会参加者名簿

### ○記念事業関係

宮城県工業高等学校	校長	橋本 正俊様
宮城県障害者スポーツ協会	会長	小玉 一彦様
仙台市障害者スポーツ協会	理事長	阿部 一彦様
宮城県警察本部生活安全部	少年課長	佐々木芳伸様
仙台市環境局廃棄物事業部	廃棄物管理課長	佐々木隆之様
チャイルドラインinMIYAGI	代表理事	小林 純子様 鎌田 彩様 高杉 洋史様
仙台ダルク	施設長	飯室 勉様 斎藤 秀一様
NPO法人 ライジングジェネレーションサポートネット	理事長	菅野美津枝様
NPO法人 せんだい・みやぎNPOセンター	常務理事兼事務局長	紅邑 晶子様 高田 篤様 太田 育代様
五城奨学生代表		

### ○ライオンズ関係

元 国際理事	L菊地 伸治	第1R RC	L小池 總明
ガバナー	L千葉 俊一	第1R 1ZZC	L大島 啓悦
名誉顧問会議長	L杉山 正夫	第1R 3ZZC	L菊地 信夫
副地区ガバナー	L平田日良支	第6R 1ZZC	L高松 文雄
名誉顧問	L曾根 哲男	第6R 2ZZC	L工藤 治夫
名誉顧問	L太田 廣茂	仙台ライオンズクラブ 会長	L近 信雄
名誉顧問	L馬場 武雄	仙台中央ライオンズクラブ 会長	L菊地 禮蔵
名誉顧問	L斎藤 清助	東京新宿東ライオンズクラブ 第1副会長	L樋口 悠治
名誉顧問	L飯岡 重雄	東京新宿東ライオンズクラブ 幹事	L鎗田 雅司
名誉顧問	L上田 隆	東京新宿東ライオンズクラブ 会計	L中田 昌男
名誉顧問	L佐藤 勝彦	物故会員 故 小田 基 ライオンレディ	小田 泰子様
名誉顧問	L大津東一郎		
名誉顧問	L千葉 正勝		
名誉顧問	L松浦 斉		
名誉顧問	L秦 従道		
キャビネット会計	L川名 醸治		
キャビネット副幹事	L小山 好典		

○キャビネット

ライオンみやぎ委員長 L 沢田哲夫  
第51回地区年次大会委員長 L 今泉茂樹

○会員

■姉妹クラブ

東京新宿東LC L 姉川 啓一 L 伊関 正孝 L 大山 尊弘 L 黒須 努 L 境 脩  
L 竹本 裕美 L 松原 等 L 三原 一彦 L 八木 忠則 L 山崎武兵衛

■1R1Z

仙台LC L 鈴木 繁男 L 平 誠一 L 高橋 道彦  
仙台宮城野LC L 岩屋 系詞 L 太田 重利 L 加藤 政志 L 佐藤 勝利 L 柴田 正樹  
L 首藤 勝文 L 庄司 博 L 高木 俊雄 L 千田 清俊 L 長谷 久義  
仙台瑞鳳LC L 小岩 正弘 L 中山 勝弥  
仙台第一LC L 小林 徳久 L 高濱 創  
仙台青雲LC L 大山 明政 L 菊地 敏明 L 佐々木恵美子 L 渡辺 崇  
仙台キャッスルLC L 遠藤 信子 L 中山 薫

■1R2Z

仙台萩LC L 佐藤 正信 L 竹下 直義 L 山之内俊彦

■1R3Z

仙台コアフロンティアLC L 高橋 秀一  
仙台コア・ウェーブLC L 久住 泰正

■2R1Z

名取LC L 芦名 弘 L 阿部 清基 L 井坂 剛 L 砂金 喜一 L 遠藤 守  
L 大友 正一 L 佐々木直哉 L 佐々木昌彦 L 佐藤 宏郎 L 佐藤 義明  
L 若生 隆 L 渡辺 正信  
亘理LC L 青田 秀雄 L 大友 孝章 L 黒崎 敏治 L 鈴木 安松 L 那須 豊蔵  
L 三品 豊 L 渡辺 吉夫  
岩沼LC L 安住 晃市 L 小野 宏明 L 長田 巖 L 川口 猛 L 斎 宏行  
L 斎藤 暢廣 L 櫻井 忠男 L 佐藤 俊一 L 庄司 弘 L 進藤 稔  
L 原田 善征 L 三品 幸一  
山元LC L 阿部 均 L 高橋 良一  
名取つばさLC L 相澤十四男 L 小松 信男 L 佐藤 孝

■2R2Z

白石LC L 遠藤 清 L 丹野 哲男 L 山田英蔵  
蔵王LC L 佐藤 建夫 L 佐藤 義則  
川崎LC L 大高 秀春 L 佐々木 進  
白石益岡LC L 高橋 正衛 L 富岡 和弘

■3R1Z

仙台高砂LC L 中元 秀造 L 森 定雄  
仙台いわきりLC L 赤間 次彦

利府 L C L後藤 亨 L門間 俊篤  
仙台ニューポート L C L庄子 孔庸

4 R 1 Z

石巻 L C L齋藤 敏郎 L高橋 芳昭  
矢本 L C L佐々木 稔 L鶴岡 政利  
河南 L C L伊藤憲七郎 L齊藤 歳勝 L高野 貞美 L三浦 弘

4 R 2 Z

石巻中央 L C L阿部檜呂詩  
石巻日和 L C L熊谷 浩 L子玉 俊博

4 R 3 Z

志津川 L C L高橋 渡 L山内 一功 L山本富士男

5 R 1 Z

涌谷 L C L遠藤淳七郎 L後藤 勝則 L久 勉

5 R 2 Z

若柳 L C L柴山 春喜 L千葉 節朗  
栗駒 L C L菅原 忠男 L山本 好郎  
志波姫 L C L佐々木徳男 L鈴木 信朗

6 R 1 Z

仙台中央 L C L柿沼 弘 L小泉 正弘 L駒米宏一郎 L今野 交 L鈴木 一夫  
L高橋 勲 L山田 明廣  
仙台広瀬 L C L西條 義勝 L土井 朗 L中沢 幸男 L花田 翼 LL花田 洋子  
仙台みちのく L C L佐藤 吉彦 L三條 功勲 L常磐 武 L中田 勝啓  
仙台西 L C L川村 功 L峯岸 啓治  
仙台グリーン L C L清水 繁夫 L千葉 徹 L服部 耕三 L横田 光男

6 R 2 Z

仙台いずみ L C L新井硬伊池 L石井佐久男 L石川 隆夫 L小野寺彌一 L柿崎 一雄  
L狩野 勝彦 L今野 勇 L今野 新治 L渋谷 千秋 L高崎 英敏  
L高橋 司 L富田 明弘 L藤井 弘光 L村山 次郎  
仙台南 L C L及川 斌 L小島 養治 L嶋田 忠悦 L菅原トキ子 L高橋 長治  
L守 威 L吉岡 紘  
仙台東 L C L氏家 裕一 L江原 昌範 L小西 行男 L後藤 栄治 L高澤 皓  
L高橋 尚 L千葉 英司 L那須川幸雄 L松本 信義 L山田 憲司  
仙台泉中央 L C L小川 雅裕 L大槻 義孝

仙台五城 L C

仙台五城 L C 会員 L浅見 紀夫 L阿部 正一 L冲津 省己 L小柳 達哉 L金丸 義雄  
L萱場 定次 L北川 信一 L久保 寿孝 L小池 囿夫 L後藤 久幸  
L佐尾 玄 L坂本 寿郎 L佐藤 峻士 L渋谷 直次 L清水 達雄  
L菅原 光博 L鈴木尚太郎 L鈴木 義久 L高田 吉雄 L田畑 英伍  
L千田 仁 L中澤 敏信 L中田 良平 L那須 武志 L本間 悟

L本間 次夫 L三浦 成夫 L三笠 知也 L三原征士郎 L門馬 賢造  
L結城 広一 L横山 万也 L渡邊 俊弥

仙台五城L Cライオンレディ

LL浅見あや子 LL鈴木 倫子 LL田畑 弘子 LL三原 眞子 LL横山貴代子  
LL渡邊多美子

仙台五城L C会友 佐藤 良雄様 米山 晴夫様

○事務局員

相原 範子 石井 優子 伊藤 千代 菅野 陽子 子玉 都子  
斎藤由葵子 高森ふき子 丹野 文子



## 12. 編集後記



CN40の記念誌を作るに当って担当の各Lには心から敬意を表したい。特に大会式典前より種々の資料を集めることは大変なことであったと思う。奨学生からの感謝のメッセージなどを読んでいる時など感慨の余り、目頭が熱くなることを禁じ得なかった。この記念誌には仙台五城の継続ACTの素晴らしさもしっかりと掲載されている。我々の日頃のACTの足跡がこの大会誌に表現されている。仙台五城ライオンズクラブの皆さん本当にありがとうございました。

CN40大会会長 L渡邊 俊弥

今回のCN40の記念誌の最大の特徴は、多くの写真を取り入れたことでもあります。前夜祭から式典・祝宴まで計画的に写真をとっております。これは事前からよく練られた物語であり、写真を追っただけですべておわかりになるように工夫してあります。実行委員長として多忙を極めていたように思うが、流石に五城クラブは表には出ないけれども裏方の輝くような活躍があったので、このような立派な記念誌が出来あがったのでと思います。担当の各ライオンには改めて敬意と賞賛と感謝を申し上げます。

CN40実行委員長 L田畑 英伍

仙台五城L.C.は節目、節目には団結して素晴らしいまとまりを見せている。CN40も全員の協力と努力によって築きあげられたものである。写真で綴るCN40という記念誌となったが、担当したのは少人数であり、編成会議も何回か行われた。その都度楽しい会議で、和やかで苦勞することは全くなかった。会議の後の夜が一層盛上ったことは言うまでもない。いろいろとご協力ありがとうございました。

編集委員長 L本間 次夫

編集委員 L高田 吉雄

編集委員 L阿部 正一



編集会議風景 04.11.06

平成16年11月末日